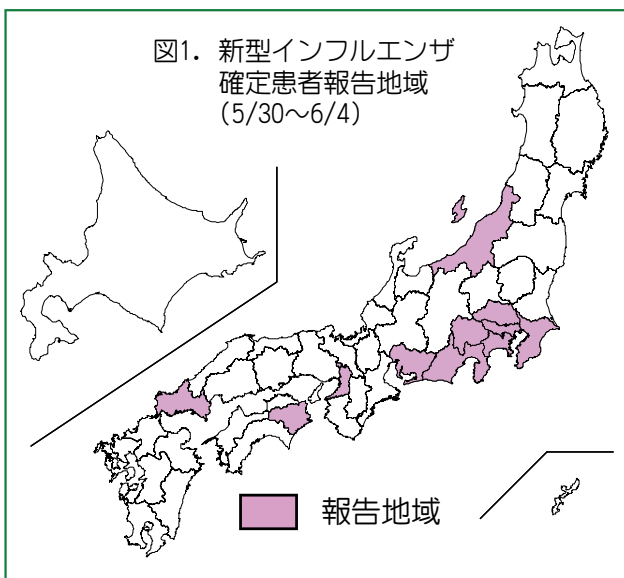


東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第20号）のトピックス

- ・千葉、新潟、山梨、愛知、山口、徳島で新型インフルエンザ患者が新たに発生
- ・第22週(5月25日～31日)の季節性インフルエンザ患者報告数は 84人、定点当たり 0.29人（昨年同期 37人、定点当たり 0.13人）
- ・千代田、中央、葛飾、清瀬の3区1市でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖
- ・インフルエンザウイルス検出状況



1 新型インフルエンザ患者発生状況

6月4日までに、1都2府13県で402名（国内発生）の患者が報告されています（図1：厚生労働省）。5月30日以降新たに、千葉、新潟、山梨、愛知、山口、徳島の6県から患者の発生が報告されました。

同日、厚生労働省は新型インフルエンザの「発症日別感染動向」を公表しましたが、これによると、日本で5月5日に新型インフルエンザ患者が発生したことが確認されています（図2）。

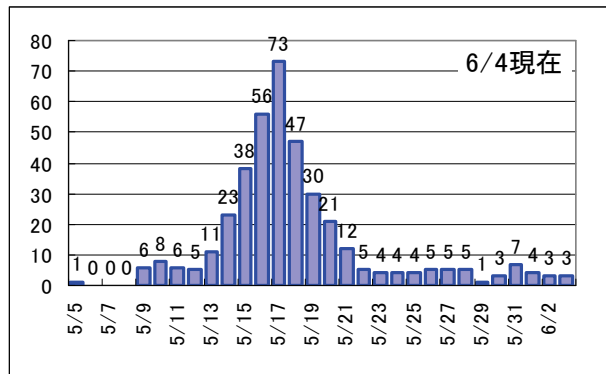
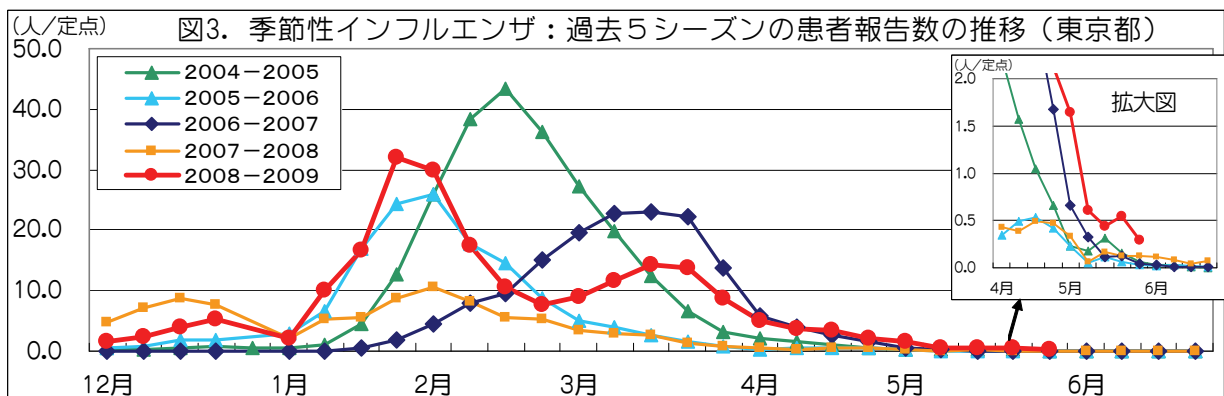
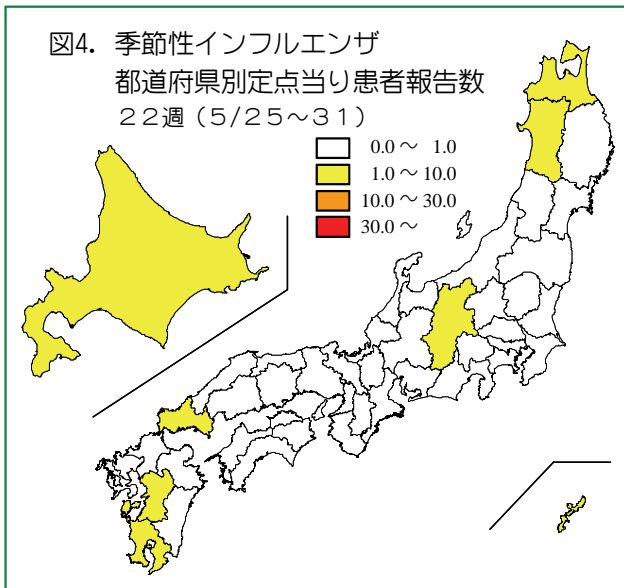


図2. 新型インフルエンザ患者報告数の推移
(発症日別：厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部)

2 季節性インフルエンザ患者発生状況 第22週（5月25日～31日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は 84人、定点当たり 0.29人で、先週(0.55人/定点) から半減していますが、過去5年では最も高くなっています（昨年同期 37人、0.13人/定点）（図3）。





【全国】患者報告数は3,561人、定点当り0.75人です。全国も先週(1.25人/定点)の約60%となり、過去5年では2番目に高い値となっています(去年同期658人、0.14人/定点)。定点当りの報告数が1人を超えているのは、沖縄をはじめとする8道県になりました(図4)。

3 都内学校の学級閉鎖状況

5月25日~31日に、千代田、中央、葛飾、清瀬の3区1市でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	swH1
36-18週(9/1-5/3)	864	394	223	104	94	
19週(5/4-10)	21	5	0	2	3	0
20週(5/11-17)	31	8	0	3	5	0
21週(5/18-24)	25	1	0	1	0	0
合計			223	110	102	0

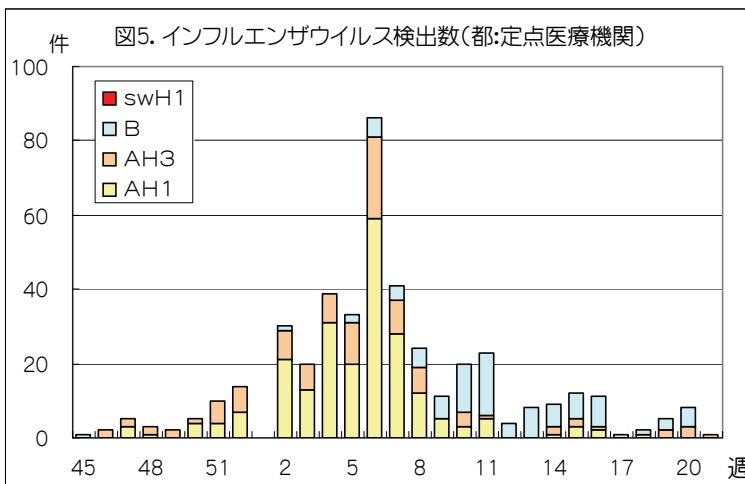
*swH1:新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)
19週以降に搬入された検体から検査実施

4 東京都の検査情報

(2008年9月以降)

5月24日までに、感染症発生动向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、AH1亜型が223件、AH3亜型が110件、B型が102件PCR法により検出されています(表1、図5)。

新型インフルエンザウイルスA/H1N1は、東京感染症アラート検査(緊急検査)により6月1日に1件、2日に3件、3日に1件、4日に1件検出され、6月5日までに累計9件になりました。



情報提供サイト

- 東京都感染症情報センター
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/swine-flu/index.html>
- 国立感染症情報センター
http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/index.html
- 厚生労働省(新型インフルエンザ)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>